

## HCD がより広く産業界に普及していくための仕組み作りを！

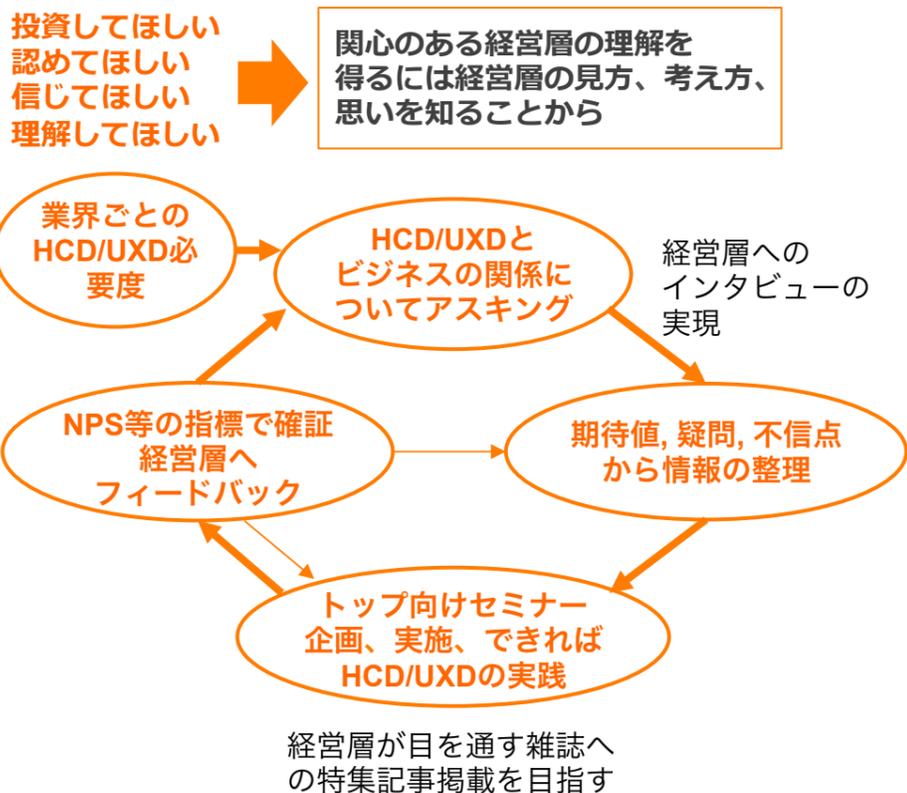
HCDは商品開発における基礎的な必須要件。今後はしっかりと定着期に向かうことが必要。  
下記のスパイラルサイクルでいえば、従来の活動が「求心力」、ビジネス支援事業部は「遠心力」を高める役割を担います。



## ビジネス支援事業 アクション全体像

対象	アクション内容 調査/分析/診断（例）	アクション内容 情報発信（例）	アクション内容 ツール提供（例）
経営層向け委員会	業界別 成功事例の収集 経営者の考えをアスキング	経営トップ向けセミナーの開催	ネットプロモータースコア エンゲージメントスコア
中間マネジメント層 向け委員会	業界別 成功事例の収集 既存開発プロセスを学ぶ	HCDと親和性が高い既存開発 プロセスの存在を知る、伝える	既存開発プロセスに HCD検討項目を盛り込む
現場向け委員会	業界別 成功事例の収集 開発現場向きHCDを抽出する	啓蒙ビデオ活用セミナーの開催 現場が対応し易いHCDを伝える	啓蒙ビデオ
開発業界団体向け 委員会	関連業界団体の洗い出し 連携可能性の検討	IPAへの協業提案 CCDSへのWG活動提案	「つながる世界の利用時の品質指 針」
利用品質メトリクス 委員会	3年間のSIG活動状況を基に 継続した情報収集、分析研究	3年間のSIG活動の成果アピール 利用品質メトリクスセミナー等開催	メトリクス開発ワークショップセッ ト

## 経営層向けの議論の紹介



## 議論中のアクションプラン

- **経営層向け委員会：**  
JEITAとの意見交換を通じて、経営者層へのインタビューの実現を目指す  
賛助会員の経営層へのインタビューの実現を目指す（アンケート作成）
- **中間層向け委員会：**テーマは「HCDを普及させる方法」  
HCD-Net会員へのインタビュー、アイデアソンにより情報を獲得  
HCD実務者で企業従業員、部長職までを対象とする
- **現場向け委員会：**プロモーションビデオの制作  
企画検討、制作会社の選定
- **関連業界団体向け委員会：**  
IPA/SEC連携テーマ  
「つながる世界の利用品質の確保に向けて IoT UX 指針の構築」  
主査：HCD-Net関係者（予定）ほか各業界から参画予定  
CCDSユーザビリティWGとの連携テーマ  
「IoT社会における利用品質の指針をセキュリティの観点からレビュー  
実施、事例を収集する」
- **利用品質メトリクス委員会：**  
1) 継続してワークショップを実施し、測定値の収集、評価、基準値を確  
2) ワークショップの研修パッケージ化  
3) 書籍化（含知財としての対応）、学会(論文)発表